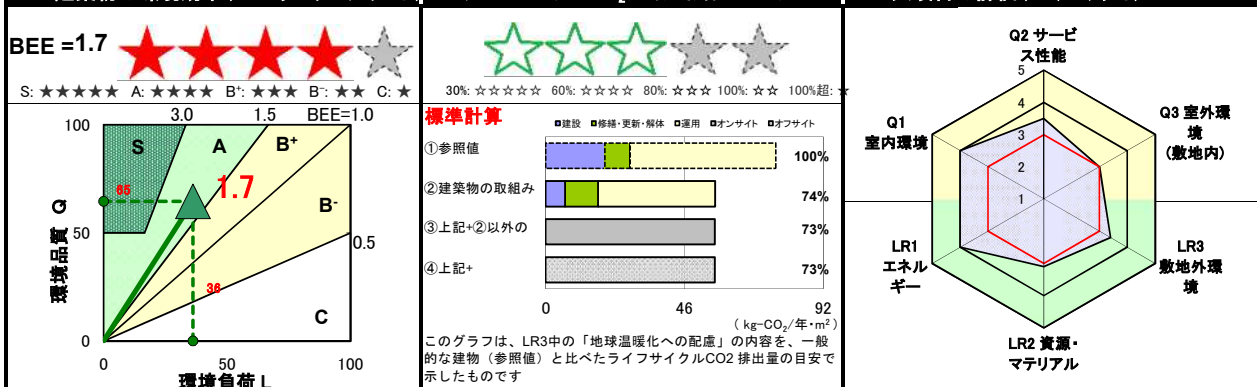


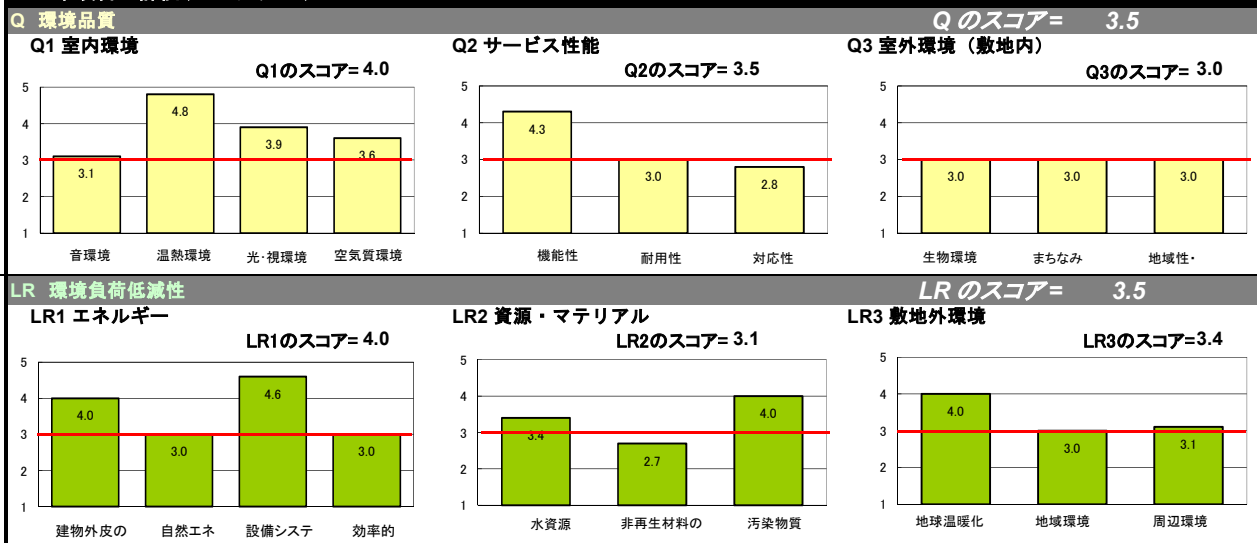
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名市河原口B-1北計画 新築工事	階数	地上10F
建設地	神奈川県海老名市河原口1334番1他	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	710 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2024年8月22日
敷地面積	6,867 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	2,450 m ²	確認日	2024年8月22日
延床面積	14,413 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
・住棟を西向きとして計画し、可能な限り道路よりセットバックさせることで、圧迫感を軽減するとともに周辺環境へ調和するよう配慮した。		特になし
Q1 室内環境 ・断熱性能等級5相当。ZEHのBELS認証取得予定につきUA値0.6以下、住棟BELI0.8以下。 ・住戸には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。	Q2 サービス性能 ・主要内装仕上材及び空調・給排水管について、更新必要間隔が優れたものを採用している。	Q3 室外環境(敷地内) ・周辺環境に配慮した建物配置・外観デザインとし、景観創出に努めた。 ・敷地内は可能な限り緑化に努め、潤いある環境を創出するとともに環境負荷低減に務めた。
LR1 エネルギー ・潜熱回収型給湯器を採用しエネルギーの有効利用を図るとともに、断熱性能等級5相当を確保することで建物の熱負荷の抑制に努める。	LR2 資源・マテリアル ・躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。	LR3 敷地外環境 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される